

A-1 学校研究

1. 学校研究主題 自ら考え、学び合う子

2. 研究主題設定の理由

本校では、「よりよく学び 心豊かに たくましく」の教育目標のもと、問題解決的な学習を通して児童一人一人の学ぶ力を育て、確かな学力を身につけさせることを願い研究を進めてきた。

その結果、問題に対して一人一人が考えを持つことができるようになってきた。しかし、二つの課題が残った。一つ目は、個々の考えを表出し、児童同士がかかわり合いながら、より高めていくことは、まだ十分にできないということ、二つ目は、児童は素直であるが、主体的に学ぼうとする意識が弱く、難しい問題に出会うとあきらめてしまったり、指示待ちの姿勢が見られたりするということである。

これは、基礎基本の知識・技能の定着やそれを使う力が不足しているためだと考えられる。そのため、基礎基本の知識や技能の確実な定着をはかり、それを使って、思考し、判断し、表現する力（活用力）を身につけさせることが大切だと考えた。

そこで、引き続き、主題を「自ら考え、学び合う子」と設定し、研究していくことにした。1年目は、教科を絞らずに研究を進めてきたが、2年目の今年度は、更に深く研究ができるようにと考え、国語・算数の2教科に絞った。

3. 研究の構想図（別紙）

4. 研究の重点

重点 活用力をつけることを意識した授業づくり

本年度は、知識だけではなく、学んだことを活かす力を身につけさせることを大切にし、1時間1時間の授業に力を入れ、計画したり、学習展開を考えたりするために「活用力をつけることを意識した授業づくり」を重点とした。

既習の知識を生かして、5つの具体的な取組で授業づくりをすれば、新しい基礎基本の知識・技能と学び方の二つが身につくと考えた。それらが、しっかりと児童のものになったとき、新しい知識・技能と学び方は、次の学習で既習の知識となって活かされる。

また、この二つの活かされるものがあれば、児童は進んで思考し、判断し、表現するようになるだろう。そして、児童は意欲的に考え、児童同士が、かかわり合い、高め合うことができるだろうと考えた。

そこで、「授業づくり」と「授業を支えるもの」の二つの具体的なことから取り組んだ。

<具体的な取り組み>

①授業づくり

- ・考えたくなる課題の工夫
- ・「つかむ」「考えを持つ」「高め合う」「まとめる」の学習過程の工夫
- ・学びが分かるノート作り
- ・学びの流れが分かる板書
- ・学びが活かせる掲示の工夫

②授業を支えるもの

- ・自分の思いを表出できる学級集団作り

・学習の基盤となる学びの土台

学習の構え、聴く、話す、書く

・基礎基本の定着のための学習《朝自習・家庭学習》

読書活動、読み聞かせ、詩の暗唱・視写、漢字練習、計算練習 など

<学びの土台>

		低 学 年	中 学 年	高 学 年
構え (準備)	・ チャイムが鳴り終わるまでに席に着く。	○	○	○
	・ 次の時間の準備をしてから休み時間にする。		○	○
	・ チャイムが鳴ったら、教科書やノートを見ている。		○	○
	・ 前の学習の振り返りと今日することの確認をする。			○
聴く	・ 話す人を見て聴く。	○	○	○
	・ 終わりまで静かに聴く。	○	○	○
	・ 反応しながら聴く。 認める反応をする。 否定的な反応をしない。	○	○	○
	・ 自分の考えと比べながら聴く。		○	○
	・ 自分の考えとの共通点や相違点を見つけながら聴く。			○
話す	・ 声の大きさに気をつけて話す。	○	○	○
	・ 最後まではっきり話す。 はい～です。 わたしは～だと思います。	○	○	○
	・ みんなに向かって話す。	○	○	○
	・ 聴いている人が反応しやすいような話し方をする。 ～か。～ね。～しよう。		○	○
	・ 聴いている人の反応を確認しながら、話す。 ～ですね。～どうですか。			○
書く	・ 正しく書くことができる。	○	○	○
	・ 基準の速さで書くことができる。	○	○	○
	・ ノートの使い方の決まりにそって書くことができる。	○	○	○
	・ 自分の考えを書くことができる。	○	○	○
	・ 自分の考えを工夫して書くことができる。		○	○

<構想図>

確かな学力

研究主題（自ら考え、学び合う子）

学習意欲の向上

かかわる力

新しい基礎基本

（知識・技能）

活用力の育成

（思考力・判断力・表現力）

授業づくり

- ・ 考えたい課題の設定
- ・ 学習過程の工夫
つかむ、考えを持つ、高め合う、まとめる
- ・ 学びが分かるノート作り
- ・ 学びの流れが分かる板書
- ・ 学びが活かせる掲示の工夫

わかった！
できた！

こんな読み方・書き方・話し方・考え方をすれば、解決できるんだ。

既習の基礎基本

（知識・技能）

前に習ったことが
使えそうだ。

あの方法で考えた
ら、できそうだ。

学びの土台

構え

聴く

話す

書く

自分の思いを表出できる学級集団作り